

定住自立圏構想における基本問題検討ワーキンググループ（第1回）

要旨

【開催日時等】

○開催日時：平成28年1月22日（金）15：00～16：30

○場 所：総務省 7階 省議室

○出席者：辻座長、梶井委員、小西委員、高田委員、牧野委員、

原田地域力創造審議官、黒瀬地域自立応援課長、海老原市町村課長

【主な意見】

- 要件を緩和するにしても、定住自立圏構想の趣旨に鑑み、現在わずかに要件を満たさないところをどうするかという議論にとどめておくべきである。
- 例えば、県が政策的に中心性を補完していれば、中心市として認めるといったこともありうるのではないか。
- 中心市要件は無原則にできないが、要件を満たさなくても広域連携をして、都道府県も含めて総力戦で地域を守るといような動きについては、定住自立圏にこだわらずに、今後の課題として認識する必要がある。
- まず要望団体の話を聞いて、その上で議論するほうがより深まるのではないか。
- 連携中枢都市圏の昼夜間人口比率要件は結果的に「おおむね」がついて「おおむね1以上」となってしまったという経緯も考慮に入れる必要がある。
- 昼夜間人口比率は、高齢化により通勤・通学者以前より減るので、昼夜間人口比率が1を切るか、切らないかということで中心性を見るのが難しくなってくるのではないか。